

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイビーキッズ南と野			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		～	2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	客観的アセスメントに基づく高品質な支援と高い保護者満足度・園連携	お子様一人ひとりのニーズや課題を客観的にアセスメント・分析し、個別の「児童発達支援計画」を作成・丁寧にご説明しています。 園訪問を定期的に実施し、保育所や幼稚園等の関係機関と直接情報共有を行いながらインクルージョン推進に努めています。 事業所の支援内容に対し、回答された全保護者様（100％）から高い満足度をいただいています。	専門機関や専門家（作業療法士等）からのアドバイス機会も活かし、より精度の高い専門的支援・アプローチの提供を目指してまいります。
2	清潔で心地よい環境管理と共感的な相談対応・就学説明会の開催	毎日の清掃を徹底し、お子様が清潔で心地よく過ごせる環境を維持しています。 日頃からお子様の発達状況を共有し、保護者様に寄り添った共感的な相談対応・面談を実施しています。 就学に関する説明会などを開催し、保護者様から非常に参考になったとのご好評をいただいています。	保護者様が抱える子育ての悩みや疑問にいつでも応えられるよう、対話重視の相談体制を継続・強化いたします。
3	朝終礼での密なチーム連携と日々の振り返り・記録の徹底	支援開始前・終了後の朝礼・終礼を徹底し、その日のお子様の様子や支援計画の留意点をチーム全体で共有・検証しています。 ヒヤリハットの共有・再発防止策の検討や各種マニュアルに基づく安全管理に万全を期しています。	共有する内容や時間の使い方をさらに精査し、より密で一貫性のある直接支援につなげてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練・防災計画および定期的な情報発信に関する保護者様への周知不足	年2回の避難訓練や非常時マニュアルの策定を行っているものの、短時間利用の保護者様を中心に認知が十分に行き届いていない場面がありました。 利用予定のお知らせ以外にも、事業所の取組や自己評価結果などの情報発信・周知方法の拡充が課題となっていました。	避難訓練の実施前後に掲示やお知らせ通知を徹底し、訓練の実施状況や非常時計画の周知を図ります。また、突然の変化や大きな音が苦手なお子様へ配慮した訓練を実施いたします。 保護者様との信頼関係を築くため、お知らせ等の周知方法や情報発信の頻度・内容を検討してまいります。
2	療育室のスペース制限（手狭感）および階段部分のバリアフリー対応	同一時間帯に子ども3名・指導員3名で活動する際、室内スペースに手狭さを感じられるご意見がありました。 教室外の階段部分にスロープがなく、ベビーカー利用の保護者様等にご不便をおかけしていました（現状はスタッフがお手伝い対応）。	運動活動と机上活動の配置調整やレイアウトの最適化など、限られたスペースでも広々と安全に活動できるよう創意工夫を継続します。 階段のバリアフリー化に関しては、安全確保の観点から建物の管理者と話し合い・調整を重ねてまいります。
3	ペアレント・トレーニングや保護者同士・きょうだい同士の交流機会の提供	平日のみの開催や周知機会の限られにより、ペアレント・トレーニングや保護者会等の家族支援プログラムに「参加したことがない」という方が一定数いらっしゃいました。	就学説明会等で関心が高かったペアレント・トレーニングの継続開催や、個別相談の充実に取り組んでまいります。 保護者様が気兼ねなく参加できる座談会や、ご兄弟姉妹が参加できるイベントの企画・実施を前向きに検討してまいります。